

### ①札幌市の環境、ステキなところはどこですか？

- 中島公園がお気に入りです。Kitara や天文台など見どころが多く、自然と人間が一緒にどのよう  
に生きていくかを示す場所であると思います。
- ゴミ箱が少ないこと。ドイツにはゴミ箱が多くありますが、ポイ捨てやゴミ箱がゴミでいっぱい  
になっても、ゴミを入れたりすることもよくあります。札幌市ではゴミ箱にたどり着くことが、  
まるで遠足のような感じでした。
- ゴミが少ないことから環境の保護は普通であると市民の意識があると思いました。
- 公園が多いと思います。特に大通公園は、季節毎にイベントがあり、開放的で都市と調和してい  
ると感じます。出身地の北京にある公園は、囲まれていて24時間入ることはできません。
- 豪雪地ですが、都市からスキー場が近いことも魅力です。
- 北京は大人数すぎて（人口は約2,000万人）、動物に触れあうことがないです。札幌市は身近  
に動物がいることが驚きました。
- 市民が親しめる公園が多いと思います。散歩だけでも公園が目に入りますし、避難所にもな  
っていることがステキです。また、モエシ沼公園は、芸術の要素も持ち合わせていて、観光もで  
きる一石二鳥の公園であると思います。
- 市民の意識が高いことも感じました。韓国では、家庭(アパート・マンション)で出たゴミはいつ  
でもゴミステーションに捨てることができます。札幌市はゴミ箱が少ないのに、ゴミが少ない(ポ  
イ捨てが少ない)と思いました。
- ミュンヘンクリスマス市ではリサイクル食器を利用していますし、雪を保存してエネルギーとし  
て使うことにも驚きました。

### ②あなたの国または自身が行っている（行っていた）環境の取組はありますか？

- 環境団体主催の森や農地の間の道などでのゴミ拾いイベントに参加したことがあります。子ども  
から大人までいて、イベント後に歩いたらきれいな自然になったと感じました。
- ゴミの分け方は、札幌とドイツでは違います。ドイツは、ゴミは燃やすよりリサイクルするこ  
とが一般的です。
- ビニール袋の提供をやめたスーパーがあります。そこでは紙袋やお客さんが持ってきたエコバツ  
クなどを使ってもらうようにしています。他のスーパーも日本に比べてビニール袋を出しませ  
ん。ビニール袋が欲しいと言わないともらえないです。日本は、不要ですと伝える隙間がないで  
す。（孫さん、劉さんも納得）。また、サービスが良いため冷たいもの、温かいものと袋を分け  
てくれることもあります。私にとっては不思議です。
- ドイツではビニール袋は1枚約40円（地域によって価格差あり）のため、1枚の袋になんでも  
入れてしまいます。
- ドイツでは、瓶や缶の回収ボックスがスーパーにあり、そこにいれるとそのスーパーで使える現  
金券になります。缶は約60円、瓶は約40円、ビール瓶は約8円で回収してくれます。（地域  
によって価格差あり）
- カラスがゴミ箱を荒らすこともあるので、きちんとしたゴミ出しを行うようにしています。

- 中国はリサイクルできるペットボトルや缶・瓶、紙類はお金になります。町のいたるところに回収業者さんがいて、持っていくとお金と交換してくれる仕組みです。大型ゴミも業者さんが買い取ってくれます。
- 生ゴミは毎日ゴミステーションに捨てることができます。
- 飲食店の生ゴミを減らすために、お持ち帰りを推奨しています。もしお持ち帰りしてお腹を壊したら自己責任になります。
- ゴミ捨て(札幌市と同じく燃えるごみ)は韓国では有料です。札幌市と同じようにゴミ袋を購入します。
- ビニール袋の削減。コンビニやスーパーでもビニール袋は有料です。最近では町で販売されている有料のゴミ袋をビニール袋代わりにするスーパーが出てきました。それか紙袋を選ぶこともできます(どちらも有料)。ソウルではソウルの中のどこの区のゴミ袋でゴミステーションに捨てることのできる仕組みができました。
- 生ゴミの削減。札幌では、生ごみを燃えるゴミと一緒に入れることに驚きました。
- 韓国は地震がないこともあり、マンション(5階以上)：住宅=50：50とマンションが多いです。マンションには、分類表示があるゴミステーションがあり、24時間捨てることができます。一部の都市では生ゴミを捨てる方法は変わりました。各家庭にカードが配布され、生ゴミ専用の箱にカードをタッチして、そこに捨てます。捨てた重さで毎月支払う料金が決まるという仕組みです。生ゴミの水切りをよくするようになりました。(孫さんのご実家は、約100円/月)
- 町をあげた植林活動。出身地の大邱では、町中に2,700万本の木を植えました。1996~2014年まで100万の木を住民に配布したようです。実際に温度が1度下がったという実績もできました。また工場が多い地域として有名なクミ市では、10年間の1,000本の木を植えるという計画が今年達成されたぐらい、盛んに行われていました。

### ③省エネなどの取り組みは行っていますか？例えば、家の中の冷暖房のことなど。

- ドイツの住宅は断熱がきちんとしていますので、エアコンがなかったり、暖房の使用頻度も低かったです。
- 私の感覚では日本とカナダは冷房を入れすぎていると思います。ドイツには「悪い天気や悪い温度が存在するわけではなく、悪い服装が存在する」という慣用句があり、自然に合わせた生き方をしています。
- 冬は札幌に比べて北京の方が寒いですが、夏は38度の北京、冷房を入れることでお客さん呼び込んでいます。そのぐらい暑い都市です。
- 大邱でも最高気温37度を記録することがあり、建物の中は寒すぎることが多いです。省エネとして、店のドアを開けばなしにしたエアコンの使用に罰金を科す政策もありました。
- CO2の削減のために、パソコンに節電プログラムを入れましょうなど1t/人を減らすキャンペーンも実施しています。

### ④世界に向けて札幌市の環境を発信するために必要なことは何ですか？

- 大都市では自然と接する機会が少ないです。子どもの時から自然は大切であるという意識を持ちながら育つ必要あると思います。自然にふれる経験は大切です。札幌市はすでに行われていると思いますが、もっと増やしてもいいと思います。CO2などは抽象的な言葉であるので、具体的に私た

ち一人ひとりが自分でできることは何だろうと考えることができるといいと思います。それに取り組むことでメリットを感じられるといいと思います。

- 中国人にとって、北海道の環境は素晴らしいしか感じないです。空気もおいしい、緑も多くあるというイメージです。中国には天気予報と大気汚染の状態をアプリからみることもできるぐらい、大気汚染に敏感です。
- 3.11 の時に放射線濃度についての問い合わせが多くありました。旅行関係者は札幌市が毎日出している放射線量のメーターの数値をよくみていました。札幌市のいい環境情報が見れるものがあるといいと思います。
- 韓国の公務員が札幌のゴミ処理場の視察に来たことがありました。その時に、札幌市の環境について宣伝ができるパンフレットなどがあると韓国に戻った時に活用できると思います。
- パワーブロガーや記者を招待して、記事を書いてもらい発信することも有効と思います。
- 韓国のスマートフォン所有率は 91%で、60 代の方もスマートフォンを使っています。インターネットの情報を見ることが多いです。
- 札幌在住の韓国人の方も帰国したら札幌市のことを PR できると思います。韓国のことわざに、「1 つ橋を渡れば皆知り合い（知り合いの知り合いは知り合い）」という言葉あるので、口コミは有効です。



紙には、①札幌市の環境、ステキなところはどこですか？への考えを書いていただきました。

左から：ブリンクマンさん「憩いの場所といえば中島公園」

劉さん「都市と自然の調和 大通公園」

孫さん「モエレ沼公園 環境×観光（一石二鳥）」